

## ◆ tekuteku 2014★谷中芸工展2014企画（活動記録＋評価集計結果）◆

企画■アートのまちづくりを歩く（4）～第22回谷中芸工展2014を訪ねて～

日時■2014年10月25日（土）15:00～18:00頃

コース■西日暮里駅＜集合＞～諏方神社～富士見坂＋諏訪台ひろば館（見えないともっと見たい「日暮里富士見坂を語り継ぐ眺望再生プロジェクト」）～旅するミシン店（手作りブックカバー）～香隣舎（芸工展本部）～谷中霊園（徳川慶喜墓所）～旧平櫛田中邸アトリエ（谷中界隈の暮らしと建物、文化活動交流展）～谷中ビアホール（上野桜木の昭和初期木造住宅3棟リノベーション）＜休憩＞～藍染大通り～へび道～よみせ通り～谷中銀座～夕焼けだんだん～日暮里駅＜解散＞

参加者■◎井手幸人、大竹 亮（以上2名、敬称略、◎コーディネーター）

### 企画主旨■

今年も恒例の谷中芸工展が開催されています（芸工展実行委員長のT・K氏よりお知らせをいただきました）。谷中界隈は、江戸・明治の面影を残す寺町や芸能・職人文化を今に受け継ぎつつ、近代・現代の芸術を育ててきた地域です。芸工展は、この町の持ち味を活かし良さを伝えるために、建物を町に開いて表現活動の場とすることによって、町に愛着のある人々と町を訪れる人々が交流する試みです。まちじゅうが展覧会場という趣向で、町の資源や地域の魅力を活かした75の企画が用意されています（個人・作家、仲間・集い、まちに飛び出す店主、地域活動、まちづくり、工房ギャラリー＋作家コラボなどのカテゴリー）。マップも力作で、美しく見やすくわかりやすく印象的です（芸工展実行委員会Y・E氏のデザインです）。

マップ片手に谷中の町をそぞろ歩き、町の随所に展示された作品を味わい、町の人々と交流しながら、町の魅力を感じ取りましょう！



### ＜参加者の意見・評価＞

#### ■参加レポートその1

谷中芸工展で毎年この時期に歩いていますが、いつも何か新しいものを発見できます。

①富士見坂（日暮里富士見坂を語り継ぐ眺望再生プロジェクト）★あいにく富士は見えず。坂と富士とを遮る建物が見えるだけでした。

②旅するミシン店（手作りブックカバー）★思わず引き込まれた店でした。多分入りたくなる要素がどこかにあるんでしょうね。商品もユニークなものがあり、とても楽しいお店でした。

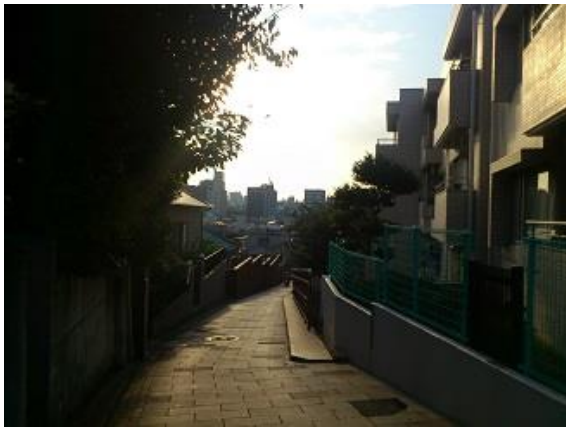
③旧平櫛田中邸（谷中界隈の暮らしと建物・文化展）★拝見するのは今回が2度目ですが、アセスする方法が違えば建物に出くわすインパクトも変わるものです（墓地からのコースの方が好きです）。アトリエ空間とそれにつながる部屋々の構成など、とても面白い建物です。これから維持、改修費用等かかるとは思いますが、保全活用を行っている「NPOたいとう歴史都市研究会」の皆さんがいれば大丈夫。応援しています！

④谷中ビール（上野桜木の木造住宅3棟リノベーション）★歩いていると谷中ビールの幟が目に入り、のぞいてみると温かいおつまみにビールが飲めるスペースが。このスペースを囲む昭和初期の3棟の木造住宅が、近いうちにパン屋、店舗、ビアホール、住宅等の複合施設に改修されるとのこと。大きな敷地の複合開発より、こうしたまちなかのちっちゃな既存建物群の複合開発に、次世代的な新しい息吹を感じるのでした。

以上、上野桜木の3棟木造住宅で囲まれた空間が特に印象に残りました。来年はリノベーション後の建物が楽しみです。（I・Y）

## ■参加レポートその2（芸工展実行委員会Y・E様への手紙）

昨日は、お会いできず残念でしたが、芸工展2014はしっかり楽しみました。西日暮里から出発したのは、富士見坂を見たかったからです。まず、諏方神社にお参りすると、境内の拝殿前の掲示板に坂の写真が掲示してありました。ひろば館前の「しばらく富士山は見られません」というポスターには、泣けてきました。（マンションで遮られたのに対し、「しばらく」がすごい表現ですね！）それから「旅するミシン店」で素敵なブックカバーを買いました。不思議なお店ですね。芸工展本部をのぞいてから、谷中霊園で徳川慶喜の墓を訪ね、それから旧平櫛田中邸アトリエを初めて訪問し、感激しました。とっても味のあるいい建物ですね。芸術の町の原点のようです。その後、谷中ビールで休憩し（ここも3棟リノベーション完成後が楽しみ！）、アランウエストから建替えられそうなパン屋とヒマラヤ杉を見て、三浦坂、藍染大通り、へび道、よみせ通り、谷中銀座を経て、日暮里駅で解散しました。（途中、マミーズ・アンスリールでお土産にパイを買いました）谷中の賑わいに比べ、根津・千駄木方面はもうひとつ芸工展という感じが乏しかったようですが、だんだん暗くなったせいかもしれません。ただ、人通りの多い谷中寺町が観光地化する兆しが目立ち、気になるところです。というわけで、3時間ほどの短い時間だったのですが、大変充実していました（「古書ほうろう」に行けなかったのが残念！）。ありがとうございました。最終日、盛況で終わるといいですね。（2014/1026 O・Rより）



富士山が見えなくなってしまった富士見坂



日暮里富士見坂を守る会のポスター



路地の奥にひっそり残る旧平櫛田中邸アトリエ



芸術家の町を実感させる北向きのアトリエ



昭和初期木造住宅3棟リノベーション予定地



リノベ後を先取りして谷中ビアホールが仮営業